La porcelaine de Limoges, 250 ans de création à travers la collection du musée national Adrien Dubouché

平成 26 年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業
愛・地球博開幕 10 周年記念
陶祖 800 年祭フィナーレ事業
瀬戸市美術館特別展

華麗なリモージュ磁器の世界

―アドリアン・デュブーシェ国立美術館収蔵品によるリモージュ磁器 250 年の歩み―

講演会「リモージュ磁器の魅力」（仮称）

日時：2015 年 2 月 1 日 (日)　13 時 30 分～ 15 時

講師：セリーヌ・ポール氏（アドリアン・デュブーシェ国立美術館館長）
場所：瀬戸市文化センター文化交流館 22 会議室
定員：８０名（定員を超えた場合は入場をお断りすることもあります。）
※事前申し込み不要、参加費無料

「アドリアン・デュブーシェ国立美術館」は、ヨーロッパを代表する磁器の街として世界的に名高いフランスのリモージュ市にあります。この美術館の名になっているアドリアン・デュブーシェは、リモージュ出身であり、実業家であると同時に熱心な美術愛好家でした。芸術の中心パリに定期的に出向いては、文化サークルで著名な収集家や評論家などの文化人と交流を結んでいます。また、彼自身も陶磁器に魅せられた収集家であり、博物館館長に就任した翌年の 1866 年には、400 点もの個人コレクションを博物館へ寄贈し、彼は亡くなるまでに約 4,000 点もの作品を寄贈しています。美術館は、デュブーシェの寄贈品を中心に、フランス随一の陶磁美術館として発展していき、現在では約 1 万 6,000 点にのぼるコレクションが収蔵される国立美術館となっています。